

2025年度総会の報告

三嶋秀恒（松戸市）

開催日：2025年2月11日（火・祝）

場 所：千葉市生涯学習センター 大研修室

特別講演（講師紹介：山口正明）、参加者：57名（会員外5名を含む）

「身近な自然から生物多様性を考える」 13：00～14：30

講師：尾崎煙雄氏（千葉県立中央博物館上席研究員）

総会（司会・進行：佐野由輝）、 14：40～16：00

総会出席者：44名、委任状提出者75名

議長：木下順次（千葉市）、書記：菅澤麗子（成田市）・相吉達夫（松戸市）

議題：2024年度事業実績・会計報告・監査報告、2025年度事業計画・予算(案)等

*オプション観察会：青葉の森公園・生態園 10：00～11：30

取りまとめ役：平田稚江子、参加者数：13名

*懇親会：千葉公園内ボートハウスレストラン 16：30～18：30

担当 三嶋秀恒 参加者数：20名

総 会：伊藤代表からの挨拶の後、木下さんが議長、菅澤さんと相吉さんが書記に選出され、議事進行しました。行事報告は伊藤代表からPPTを使用して詳細に解りやすい発表があり、会計報告は浦部さん、会計監査報告は藤田さんからの発表で、承認されました。続いて昭和の森観察会・大草谷津田いきもの里自然観察会・東葛しぜん観察会・研修会・SSN・受託事業等々の行事案および予算の提案で、夫々の担当役員から熱のこもった説明があり、承認されました。

特別講演：テーマ「身近な自然から生物多様性を考える」

尾崎煙雄氏は千葉県立中央博物館 教育普及課 上席研究員、専門は森林生態学、著書：千葉県いきものかんさつガイド 等、NHK 総合 首都圏ネットワーク テレビ・ラジオ番組、NHK ラジオ第一 マイあさラジオ「いきもの☆いろいろ」に出演されています。

講演内容は、1)生物多様性とは：種の多様性・遺伝子的多様性・生態系多様性があり、自然は生物と環境の相互作用で成り立っており 多様な恩恵を受けるため多様な生態系が必要である。IPBES の報告などでは生物多様性が危機的状況にあるとの説明。2)生物多様性を守るためにラムサール条約、ワシントン条約、COP10の愛知目標、昆明 モントリオール枠組、ネイチャーポジティブ、30by30 など国際的目標が進められているが、絶滅速度が早く、大幅に減少している。3)GBIF(地球規模生物多様性情報機構)、JBIF(日本生物多様性情報イニシアチブ)、サイエンスミュージアムネット、いきものログ、生命のにぎわい調査団、iNaturalist など情報の記録があり、生きものや自然がどう変化したかモニタリングの重要性がある。4)最後に生物多様性を守るために私たち自然観察指導員に出来ることから始めよう、の結びでした。

オプション観察会：「青葉の森公園生態園で自然観察会」

中央博物館前から32品種 約400本の紅梅・白梅が見頃の梅林を通過して生態園に入った。平田さんの案内で 生態園では 公園の立体模型、房総半島の森林や草地の姿を観察できるように群落を再現してのパネル展示をじっくり見学、タブノキ・スダジイ・アカガシなどの林区を通過して ウラジロガシやナンバンギセルなどの観察をしながら野鳥観察舎に寄っての観察会。

懇親会：千葉公園のカフェハーモニーに移り、小西さんの乾杯の音頭で、美味しい料理と飲み物で歓談して親睦を深めました。楽しい雰囲気です。久しぶりの交流でした。